

土砂災害
の危険!

こんな現象に気がいたら…すぐに避難!!



亀裂が
走った

がけ崩れ

斜面に亀裂が走った



石が
落ちてきた

がけ崩れ

石が転がり落ちてきた



わき水が
増えた

がけ崩れ
地すべり

わき水の量が増えた



井戸水が
にごった

地すべり

井戸の水がにごってきた



わき水が
止まった

地すべり

いつも出ていたわき水が枯れた



地鳴りが
する

土石流

地鳴りの音が聞こえてきた



水位が
下がった

土石流

川の水が少なくなった



川が
にごった

土石流

川の水がにごり、流木も流れた

- 土砂災害は発生する前に「前兆現象」がある場合があります。危険な箇所には日頃から注意し、家族で前兆現象を確認しておきましょう。
- いつもと違う！初めて見た・聞いた！異常を感じたらできるだけ早く周りの人と安全な場所に避難しましょう。
- 異常を感じたら役場、最寄りの県土整備事務所にご連絡をお願いします。

緊急連絡先

家族の連絡先

名前	電話番号 (携帯電話/会社・学校)

緊急連絡先

連絡先	電話番号
消防署	119 (局番なし)
警察署	110 (局番なし)
病院	
役場	
県土整備事務所	

避難支援者

名前	電話番号 (携帯電話/自宅)

我が家の緊急避難場所

避難所

場所	電話番号

家族が離ればなれになった場合の集合場所

場所	電話番号

非常持出し品

点検日	持出し品
/	飲料水・ペットボトル
/	食料(乾パン・缶詰)
/	医療品(常備薬・介護用品)
/	現金・貴重品(免許証・通帳等)
/	衣類・防寒着・雨具・軍手
/	懐中電灯(電池)
/	携帯ラジオ(電池)
/	携帯電話(充電器)
/	缶切り・タオル・チリ紙
/	
/	
/	

メモ

土砂災害から家族を守るには、

日頃の備えと早めの避難 が必要です!

▶ 平成22年7月、土砂災害により人的被害
(死者2名、重傷者1名)が発生

日頃の備えは十分ですか?

- 日頃から、がけから離れた部屋や2階で過ごすことが重要です。

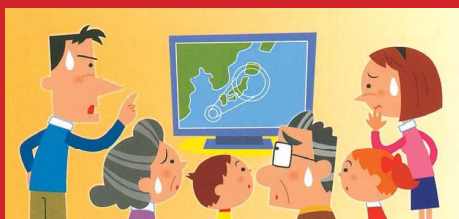
がけ崩れや落石は大雨だけでなく、地震や風で発生する場合があります。

- 大雨が降った後は、しばらくの間、がけに近づかないようにしましょう。

平成22年7月の人的被害を伴う土砂災害は雨があがってから19時間後に発生しました。雨がやんでもしばらくの間危険です!

木造1階での被災が多い!

土砂災害による犠牲者のほとんどが木造家屋での被災、被災階数が分かっているものの8割は1階での被災です。



「裏山が崩れたことがない」が危ない!

土砂災害による人的被害の9割は、過去100年程度災害のない箇所が発生しています。

また、昭和58年の浜田市中場地区では、安全だと思って避難した住宅の裏山が崩れ、15名の尊い命が一瞬にして奪われました。



浜田市穂出町(中場地区)

すぐに避難できますか?



- 日頃からがけや川の状況に注意し、危険を感じたら自主避難しましょう。

土砂災害は発生する前に「前兆現象」「前ぶれ」がある場合があります。

- 避難勧告が出たら迷わず避難しましょう。

大雨になったら気象情報や市町村からの情報に注意しましょう。

ふだんから...

家族や地域ぐるみでがけ崩れのおそれがある場所や避難場所について話し合うとともに、実際に自分の目で確認しておきましょう。

すぐに避難できますか?
どこへ避難しますか?



避難用具の準備
避難所、避難経路の確認

いつ避難しますか?
だれと避難しますか?



**危険を感じたらすぐに避難
声を掛け合って早目に避難**

